

令和三年度

事業報告書

「忠恕・敬愛・感謝」



## 目 次

I 総務課	1
II 事業部	2
〔1〕 各種委員会・会議等	2
〔2〕 研修	3
1. 外部研修	3
2. 内部研修	3
〔3〕 年間行事	3
〔4〕 アクティビティ	3
〔5〕 実習・見学等	5
1. 実習・見学受け入れ	5
2. 一般の見学	5
〔6〕 ボランティア	5
〔7〕 医務室	6
〔8〕 栄養	8
〔9〕 特別養護老人ホーム	9
1. 在籍	9
2. 退居	10
3. 新規入居	10
4. 入居申し込みと待機者状況	11
5. 入院実績	11
6. 要介護度推移	11
7. 平均年齢推移	12
8. 収入段階、利用料	12
9. 外出	12
10. 外泊	12
11. 面会	12
12. 相談員の業務を振り返って	12
13. その他	13
14. 介護支援専門員の業務を振り返って	13
15. 介護	13
〔10〕 デイサービス	16
〔11〕 ショートステイ	17
〔12〕 居宅介護支援事業所	17

## I. 総務課

### 〔1〕 【自衛消防訓練等】

※新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

### 〔2〕 【職員健康診断】

#### 1. 第1回目

日 時 令和3年8月19日・20日 午前9時から午後0時

内 容 全職員対象

受診人数 84名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

健診内容 問診・聴診・身長・体重・腹囲・視力・聴力・血圧・心電図・胸部X P（間接撮影）・尿検査（糖・蛋白・ウロビリノーゲン・潜血）・抹消血液一般（白血球数・赤血球数・血色素量・ヘマトクリット）・GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP・総コレステロール・HDL-コレステロール・中性脂肪・血糖・ヘモグロビンA1C

#### 2. 第2回目

日 時 令和4年3月23日 午前9時から午後0時

内 容 夜勤職員対象

受診人数 52名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

健診内容 問診・聴診・身長・体重・腹囲・視力・聴力・血圧・心電図・胸部X P（間接撮影）・尿検査（糖・蛋白・ウロビリノーゲン・潜血）・抹消血液一般（白血球数・赤血球数・血色素量・ヘマトクリット）・GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP・総コレステロール・HDL-コレステロール・中性脂肪・血糖・ヘモグロビンA1C

#### 3. ストレスチェック

日 時 令和3年年8月

内 容 全職員対象

受診人数 72名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

## Ⅱ 事業部

### 〔1〕各種委員会・会議等

#### 1. 入居検討委員会

在宅での新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、長期入院を経て、身体機能の著しい低下が見られ医療機関（急性期・回復期）からの新規依頼が多数を占めた。

#### 2. 入居判定会議

入居申込者の中から優先順位の高い方の面談調査を行い、ご家族の意向とご本人の状態を基に、各フロアでの対応と生活介護上の課題について検討し、会議で検討された方は全員入居可となった。

#### 3. 医療的ケア安全対策委員会

認定特定行為業務従事者登録を行った介護職員が、看護師の指導にて安全に医療的ケアが行えるよう、その仕組みや方法について検討した。

#### 4. 衛生管理委員会

産業医の指導の下、入居者様や職員の健康管理について検討を行った。施設内巡視の内容を見直し、巡視結果を評価（採点）することで、問題点を顕在化させ職場環境の改善に努めることができた。

#### 5. 感染症対策委員会 12回

#### 6. 防災委員会 随時

#### 7. 苦情対策委員会 12回

#### 8. 事故・身体拘束防止委員会

委員会では、それぞれの事故についての原因究明と再発防止に努め、全職員が統一した認識を持って事故防止に取り組めるよう、施設内で起きた全ての事例を、全ての部署で確認できるようにした。

#### 9. 栄養管理委員会 12回

#### 10. 行事委員会

新型コロナウイルス感染症対策として、「八瀬の里まつり」やボランティアによる行事は中止とし、「敬老会」は、各階にて表彰式を実施した。

#### 11. 褥瘡対策委員会

現在褥瘡が発症している方の状態報告と、褥瘡になる可能性がある方について、看護師と栄養士、介護職を協同して改善策を検討した。

#### 12. 排泄委員会

排泄習慣の確認や排便状況の情報収集を行った。おむつ使用量の減少や、摂取水分量の増加、下剤使用量の減少など、一定の成果が見られた。オムツ対応だった方をトイレに誘導する機会も増えている。陰部洗浄も積極的に行った。より良い排泄介助、より良い介護の提供へと取り組んでいく。

#### 13. 看取り介護委員会

看取り介護によりご逝去されたご家族へアンケートを実施した。

研修に於いては、内部研修の他、リモートによる外部研修を新たに取り入れた。

〈令和3年度 看取り介護：9名〉

14. 研修委員会 新型コロナウイルス感染防止のため中止

〔2〕研修

1. 外部研修

研修日	研 修 名	参加人数
6月2日	介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
6月30日	川越市要介護認定新任調査員研修	1名
6月29日	安全運転管理者等講習	1名
合計		3名

2. 内部研修

研修日	研 修 内 容	参加人数
7月19日	看取り介護職員研修 (R3. 7. 19 ~ R3. 9. 30)	69名
8月9日	吸引 (口・鼻からの吸引) 研修会	1名
10月18日	看取り介護職員研修 (R3. 10. 18 ~ R4. 2. 28)	58名
11月12日	オムツ勉強会 (ユニ・チャーム株式会社)	14名
11月26日	褥瘡予防研修会 (株式会社モルテン)	19名
12月9日	オムツ勉強会 (ユニ・チャーム株式会社)	11名
12月14日	褥瘡予防研修会 (株式会社モルテン)	22名
合計		194名

〔3〕年間行事

月 日	行事名	行事内容
4月上旬	お花見	施設周辺を散歩し写真に収めた。
6月上旬	収穫祭 (梅狩り)	収穫した梅の実で梅ジュースを作った。
9月16日	敬老会	敬老会を開催した。昼食会を楽しまれた。
10月14日 10月19日 10月25日	屋台レク	八瀬の里祭りの代わりとしてフロアでの屋台レクを企画した。模擬店を開催し、賑やかなお祭り気分を味わって頂いた。屋台レクの様子を写真に収め家族へ郵送した。

〔4〕アクティビティ

各ユニットで企画された、季節に応じたアクティビティが、下記の通りに実施された。

表1. 実施アクティビティ一覧

実施日	参加人数	レク内容	誕生日会	食事内容	買い物、行き先
4月	13	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	

	15	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	14	おやつレク	誕生日会	ホールケーキ	
	16	食事レク	誕生日会	お稲荷、豚汁	
	14	おやつレク		サーターアンダギー	
	16	食事レク		焼うどん	
	16	おやつレク		パンケーキ	
5月	14	食事レク	誕生日会	フレンチトースト	
	16	おやつレク	誕生日会	ホットケーキ	
	15	おやつレク	誕生日会	ホールケーキ	
	15	食事レク		寿司ケーキ	
	15	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
6月	16	食事レク	誕生日会	焼うどん・お好み焼き	
	16	おやつレク	誕生日会	あんみつ	
	16	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
7月	14	食事・おやつレク		素麺、フルーチェ	
	16	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	15	食事レク		お好み焼き	
	16	おやつレク	誕生日会	コーヒーゼリーパフェ	
	30	おやつレク	誕生日会	かき氷	
	30	おやつレク		かき氷	
	16	食事レク		サンドイッチ	
8月	30	おやつレク		かき氷	
	16	食事レク		たこ焼き、焼きそば	
	16	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	16	おやつレク		アイス	
9月	16	食事レク	誕生日会	宅配寿司	
	16	おやつレク	誕生日会	あんみつ	
	16	食事レク	誕生日会	はま寿司	
	13	おやつレク		プリンアラモード	
10月	31	屋台レク		フランクフルト、焼きそば、たこ焼き、あんみつ、クレープ、フルーチェ、カレー	
	30	屋台レク		フランクフルト、焼きそば、たこ焼き、あんみつ、クレープ、フルーチェ、ベビカス	
	16	おやつレク		あんみつ	
	15	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	32	屋台レク		焼きそば、焼き鳥、のり塩ポテト、	

				スイーツバイキング	
	16	食事	誕生日会	サンドイッチ	
	14	おやつレク		八つ橋	
11月	15	食事レク	誕生日会	宅配寿司	
	16	食事レク	誕生日会	焼きそば	
	15	おやつレク	誕生日会	あんみつ	
	16	おやつレク		あんみつ	
	16	食事レク	誕生日会	宅配寿司	
12月	14	食事レク		宅配寿司	
	8	食事レク	誕生日会	スシロー	
	16	食事・おやつレク		餃子、ケーキ	
	8	食事レク	誕生日会	宅配寿司	
	16	おやつレク	誕生日会	デコレーションケーキ	
	32	クリスマス		トリュフ調理	
	32	クリスマス		パンケーキ、フルーチェ	
1月	16	食事レク	誕生日会	はま寿司	
	16	おやつレク	誕生日会	あんみつ	
	16	食事レク	誕生日会	鰻、出前寿司	
	16	食事レク	誕生日会	たこ焼	
	16	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	16	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
2月	14	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
3月	16	食事レク	誕生日会	焼きそば	
	7	おやつレク	誕生日会	ケーキ（購入）	
	15	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	8	食事レク	誕生日会	サンドイッチ（購入）	

## 〔5〕実習・見学等

### 1. 実習・見学等受入

新型コロナウイルス感染拡大の伴い、実習、見学等受け入れは自粛とした。

### 2. 一般の見学

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一般見学全般を自粛とした。

## 〔6〕ボランティア

新型コロナウイルス感染症対策として今年度は受け入れ中止した。



## 〔7〕 医務室

主任 轟木まり子

「『健康管理』に伴う基本方針」に基づき、入居者様および利用者様に対し健康管理および医療処置を実施する。

### 「健康管理」に伴う基本方針

- ・ 入居者様の生活に障害となる疾病や症状の、健康面からの管理
- ・ 入居者様の快適な生活をサポート
- ・ 他の職種間との協働で健康管理サービスを提供
- ・ 入居者様の意思を尊重し、入居者の健康管理サービス（医療処置）の提供

#### 1. 予防医療

##### ア. 入居者様の健康状態の把握

嘱託医による回診を月1回実施。

##### イ. 医療機関および医師による検診の実施

###### (1) 健康診断の実施

入居者の新型コロナウイルス感染対応となり、帯津三敬病院の健康診断を見合わとなった

##### ウ. 流行性疾患蔓延の予防

(1) インフルエンザ予防接種の実施：令和3年10月29日 入居者：82名

###### (2) 新型コロナウイルスワクチン接種の実施

令和3年5月1日（ファイザー） 入居者：88名

令和3年5月2日（ファイザー） 入居者：86名

令和4年2月26日（モデルナ） 入居者：78名

##### エ. 感染の予防

###### (1) インフルエンザ、ノロウイルスの流行期

→職員全員マスク着用・検温を実施

職員、入居者に感染症が疑われる場合は

→職員玄関に感染状況を掲示し、職員へ周知

入居者の早期居室対応、病院受診

###### (2) 疥癬

→発症フロアの職員エプロン・手袋を使用

感染症が疑われる入居者、職員は病院受診

感染陽性→定期的に皮膚科受診（陽性者：4名）

感染者に居室対応、入居者・職員の衣類等は感染症対応の洗濯で実施

感染者の居室・フロアの消毒、清掃

職員玄関に感染状況を掲示し、職員へ周知

(3) 感染症対策委員会を定期的を開催し、情報を共有

#### オ. 新型コロナウイルスワクチン感染者対応

(1) 発熱者の受診対応 PCR 検査陽性：入居者 11 名（入院：5 名）

→入居ユニットのレッドゾーン対応を開始

レッドゾーン対応職員は防護服・フェイスシールド着用、レッドゾーンはベランダからの出入りを実施

職員全員マスク・フェイスシールド着用（ダブルマスク）・検温を実施  
至聖病院医師へ新規発熱者・感染者の発熱状況報告

必要時、至聖病院医師指示による点滴実施

(2) 保健所・至聖病院指示による、PCR 検査の実施

(3) 感染者状態悪化時は至聖病院へ連絡し受診

(4) 保健所指示による、感染者ゾーニング解除対応

(5) 職員玄関に感染状況を掲示し、職員へ周知

## 2. 治療医療

### ア. 的確な症状の把握

(1) 介護職員の報告を把握し、バイタルサインの確認、異常症状発生以前からの状態の確認と変化した全身の状態の観察

(2) 医療機関およびご家族等からの情報は、施設内での情報共有

(3) 必要時に医療機関を受診、定期受診を継続

### イ. 症状に適した処置の実施

(1) 症状に応じた対症療法を指示または実施

(2) 配置医の指示を受け、入居者の処置を実施

(3) 医療処置の経管栄養・吸引・外科的・皮膚科的・泌尿器科的処置、湿布、点眼を実施

### ウ. 内服治療への援助

(1) 配置医による定時薬、臨時薬の服薬継続の確認（定期回診）

(2) 臨時薬が処方された際は内容、内服方法を介護職へ説明

(3) 入居者様の状態に応じて、錠剤を粉薬へ調整

### エ. 褥瘡の予防

(1) 毎月、第二金曜日に褥瘡予防対策委員会を開催

① 褥瘡発生者、予防者について清潔・栄養・除圧の側面から評価し必要なケアを検討

② 褥瘡発生者は医師の診察・処置対応し、褥瘡状態を他職種と共有

③ 褥瘡予防者の皮膚の経過観察

## 3. 入居者の意思を尊重した健康管理サービスの提供

・入居後の健康状態の変化に合わせ、リビングウィルを確認

・入居者、ご家族に確認後、受診・治療・ケア援助

#### 4. 看取り介護への取り組み

- ア. 看取りの時期について配置医のからの判断を受ける  
ご家族が理解されているか相談員、介護職、介護支援専門員と確認  
入居者およびご家族の死に関する要望を確認
- イ. 入居者の状態変化の際はご家族様への報告
- ウ. 入居者の夜間急変時に、看護師は24時間のオンコール体制で対応
- エ. 提携病院と受け入れの調整

#### 5. 均一な医療サービスの提供

- ア. 毎朝の申し送りとカンファレンスを随時実施し、入所者様の状態把握や情報を医務内で共有
  - イ. 実施した医療処置、健康状態、受診結果について記録（ケース入力）  
緊急時に適切な対応、関係部署との連携
- #### 6. 災害・非常時への準備
- ア. 災害・非常時用保管場所（3階エレベーター前倉庫）に応急処置用品の保管
  - イ. 非常時持ち出し品一覧表を確認、全職員に周知
  - ウ. 応急処置用品は消費期限があるため、数量の検討と物品を見直し

### 〔8〕栄養科

管理栄養士 主任 山田 みゆき

重点目標として、1. 「食べる喜びを、生きる喜びへ」 2. 「個人への最適な栄養ケア」 3. 「安全安心な食事提供」の三点を挙げ活動を行なった。

#### 1. 「食べる喜びを、生きる喜びへ」

通常の食事では、入居者様個人に合わせた形態での提供を心掛けた。イベント食については季節に合わせた行事食提供に加えて、昨年度実現が叶わなかった郷土料理を定期的に提供することが出来た。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった八瀬の里まつりの代わりにイベントとして、各フロアで屋台レクを実施した。規模は小さいながらも各フロアの特色が出ており、入居者様だけでなく職員も楽しめるイベントとなった。

ユニットのレクについては、サイボウズを活用し実施ユニット以外への情報発信を行うことが出来た一方で、ユニットレクの企画・調整の仕方については格差が感じられたため、栄養管理委員会の中で話し合う機会を設け計画的な実施を提案することができた。

#### 2. 「個人への最適な栄養ケア」

入居者様全員を対象とし栄養ケア計画書の作成を行なった。栄養スクリーニングを行いアセスメントを実施すると共に、リスク別のモニタリングを実施しながら3か月

ごとの評価を基にプランの確認や変更を行った。低体重や体重が減少傾向にある方、食事摂取不良や体調不良の方への対応として、各部署と情報を共有し補食や嗜好・嚥下機能に合った食事を提供しながら日々の体調管理に努めた。栄養ケアカンファレンスにおいては水分補給ゼリーの使用や、水溶性食物繊維使用について提案することで個人の体調管理に努めた。

### 3. 「安全安心な食事提供」

感染症を含めた災害に備えるため、八瀬の里 BCP に基づき非常食の保管場所について見直しを行った。1 食分をフロア保管とすることは継続し残りの非常食を 1 階材料室から 4 階材料室へ移動することで、運搬に費やす負担の軽減や水没等に備えることができた。また、委託業者との間では平常時の対応に加え感染症発生時のルールを共有していたため、1 月の新型コロナウイルス感染症発生時における 46 日間の弁当箱配膳を遅延なく安全に終わることができ、感染症拡大防止にもつなげることが出来た。しかし、弁当箱配膳においては汁物の配膳が難しいことと弁当箱容量の都合で栄養補給が不十分と思われ、長期にわたるほど栄養状態が低下する恐れがある。弁当箱での配膳が長期に及ぶと予想される場合には、塩分補給や栄養補給のため別の栄養補助食品の提供を検討することが今後の課題であるといえる。

## 〔9〕 特別養護老人ホーム

生活相談員 遠藤孝治

### 1. 在 籍

3 月 31 日の在籍者は 95 人となっている。

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、在宅からの受け入れはワクチン接種の不確実性や感染症予防（入居前 PCR 検査）の強制的な実施が困難であり、受け入れ状況としては極めて厳しい。

次に入居して頂く対象者へは、当施設「優先入居に係わる取扱規定」による優先順位に基づき、入居順位検討結果を検討委員会実施月の月末又は翌月月初に送付している。

新規申込者の傾向として、若年層（50 代）の申込が増加傾向であり、入居理由が「脳梗塞・脳出血」等の発病による四肢麻痺等で、在宅復帰は難しい。

表 1. 令和 3 年度入居者男女比率（令和 4 年 3 月 31 日現在）

	令和 3 年度		令和 2 年度	
	人数	割合	人数	割合
男性	33 名	35%	30 名	33%
女性	62 名	65%	58 名	67%
合計	95 名	100%	88 名	100%

## 2. 退 居

表 2 に示すように、令和 3 年度の退居者は 37 名であった。

表 2. 令和 3 年度退居者一覧

年 月	退居者数	退居理由
令和 3 年 4 月	1 名	療養型 1 名
5 月	1 名	療養型 1 名
6 月	1 名	死亡 1 名 (病院)
7 月	3 名	死亡 1 名 (病院 1 名) 療養型 2 名
8 月	4 名	死亡 3 名 (病院) 療養型 1 名
9 月	5 名	死亡 5 名 (病院 2 名、看取り 3 名)
10 月	4 名	死亡 2 名 (病院 1 名、看取り 1 名) 療養型 2 名
11 月	5 名	死亡 4 名 (病院 2 名、看取り 2 名) 療養型 1 名
12 月	4 名	死亡 2 名 (病院 1 名、看取り 1 名) 在宅 1 名、転居 1 名
令和 4 年 1 月	2 名	死亡 1 名 (病院) 療養型 1 名
2 月	3 名	死亡 2 名 (病院 1 名、看取り 1 名) 在宅 1 名
3 月	4 名	死亡 2 名 (病院) 療養型 1 名、精神科 1 名
合計	37 名	

表 3. 年度別退居者数の推移 (人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令 3	1	1	1	3	4	5	4	5	4	2	3	4	37
令 2	5	2	1	5	4	1	3	4	3	7	1	5	41

※施設看取り 7 名、在宅復帰支援 2 名

## 3. 新規入居

表 4 に示す通り、新規入居者様は 40 名、その内自宅待機 20 名、医療機関 20 名となっている。

表 4. 令和 3 年度新規入居者一覧

年 月	新規入居者数	入居前の居所
4 月	5 名	在宅 2 名 医療機関 3 名
5 月	3 名	在宅 1 名 医療機関 2 名
6 月	3 名	在宅 2 名 医療機関 1 名
7 月	2 名	在宅 2 名
8 月	0 名	緊急事態宣言下で受け入れ中止
9 月	3 名	在宅 2 名 医療機関 1 名
10 月	7 名	在宅 3 名 医療機関 4 名
11 月	4 名	在宅 3 名 医療機関 1 名
12 月	6 名	在宅 3 名 医療機関 3 名
令和 4 年 1 月	1 名	医療機関 1 名

2月	5名	在宅2名 医療機関3名
3月	1名	医療機関1名
合計	40名	

表5. 新規入居者の介護度と男女構成比

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
入居者(人)	1	1	16	14	8
女性	1	1	11	10	4
男性	0	0	5	4	4

表6. 年度別新規入居者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令3	5	3	3	2	0	3	7	4	6	1	5	1	40
令2	4	5	2	1	2	6	3	6	2	1	3	4	39

#### 4. 入居申込みと待機者状況

令和3年4月から令和4年3月の間の新規申込は68件であった。医療機関からの入居依頼が多数を占めており、コロナ禍での在宅支援の困難さが明確であった。但し、昨年度同様に退院前PCR検査を実施されており、入居時に於ける勘案事項が少なく在院日数を超えずに弊所への入居ができた。

#### 5. 入院実績の推移

協力医療機関での発熱外来を踏んでの入院が昨年度は多かったが、オミクロン株の拡大に伴い、医療機関での入院受け入れ窓口の縮小が重なり、入院待機時での重症化が際立った。

#### 6. 要介護度推移

表9の通り、今年度一年間の介護度は、平均介護度3.8となっている。

表9. 要介護度の推移（令和3年度平均介護度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
介1(人)	3	3	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2
介2(人)	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1
介3(人)	27	29	29	29	29	31	33	36	36	34	35	35
介4(人)	37	36	36	37	34	34	36	34	37	38	42	40
介5(人)	25	26	27	27	27	26	23	22	21	19	17	17
令3平均介護度	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7
令2平均介護度	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9

## 7. 平均年齢推移

入居者平均年齢 86.7 歳（男性：86.4 歳、女性：89.1 歳）

表 10. 平均年齢の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
女性	89.64	89.59	89.44	89.61	89.70	89.63	89.0	88.66	88.45	88.50	88.37	88.59
男性	83.33	83.41	83.69	83.67	83.70	83.60	83.85	83.85	84.23	84.32	83.79	82.48
令3年度全体	87.53	87.57	87.49	87.61	87.68	87.64	87.34	87.16	87.06	87.08	86.76	86.47
令2年度全体	87.98	88.16	87.88	87.93	87.80	87.89	88.03	88.14	88.28	88.33	87.94	87.69

## 8. 収入段階、利用料

収入段階による利用料は、第2,3段階が48名となっている。女性の新規入居者様の第3段階人数が微増。第4段階は大きく増加している。

	令和3年度末		令和2年度末	
	人数	構成比率(%)	人数	構成比率(%)
収入段階				
第1段階	0	0	0	0
第2段階	14	15	16	18
第3段階	34	36	43	49
第4段階	47	49	29	33
合計	95	100	88	100

## 9. 外出

新型コロナウイルス感染症対策として、外出実績は無し。

※但し、家族様と入居者様の施設外周の軽散歩は実施。

## 10. 外泊

今年度は新型コロナ感染症対策にてご家族様へ自粛を要請し実績なし。

## 11. 面会

厚生労働省主導の下、オンライン面会を実施。看取り対象者及びオンライン面会が困難な入居者については窓越し面会を実施。

※対面式面会については、新型コロナウイルス感染規模縮小の兆しあるまでは自粛継続。

## 12. 生活相談員の業務を振り返って

新型コロナウイルスオミクロン株の猛威により、新規入居者の対応についてPCR検査の実施の上での入居をお願いし、入居時における関係家族の金銭的負担を強いてしまった。但し、事前の検査を実施したので新規入居に伴う感染者はいなかった。

在宅からの入居支援については、申込者のご理解を得れず、優先入居順位は同点であっても、入居に結びつかなかった。

### 13. その他

#### (1) 居室の有効利用

入居検討順位上位の方の空床利用を行った。

#### (2) ご家族への連絡

オミクロン株の感染拡大に伴い、一時は再開した対面面会も感染症対策のため面会の自粛をお願いする事となり、直接的な説明は困難であった。リモートでの説明は物理的な問題もある為、電話連絡による対応が主となってしまった。

#### (3) 新型コロナウイルスワクチン

ご家族様へ事前同意書及び説明書を送付し、接種準備を行った。

### 14. 介護支援専門員の業務を振り返って

介護支援専門員 黛 裕子

#### (1) ケアプラン・カンファレンス・モニタリング

各専門職それぞれに意見を述べてもらい、一人では気づけなかった課題を見直す事ができ、入居者一人ひとりに対し個別性のあるケアプラン作成ができた。

看取りの振り返りカンファレンスに於いては、事前にユニット内での話し合いの結果を持って臨んでいる事により、フロア職員全体による意見と多職種との振り返りカンファレンスを行う事ができた。

作成したケアプランの情報を共有し、職員全体でモニタリングを行った。

#### (2) 看取り介護

今年度は看取り介護をきっかけに、多職種連携による在宅での看取り介護支援や在宅復帰支援を行い、新たに退所時等相談援助加算を算定した。

毎月の看取り介護のケアプラン会議では、多職種の意見を「サービス担当者会議の要点」に記録し、家族へ配布し状況報告に努めた。

#### (3) 家族への支援

コロナ禍での家族との面会は、リモートや窓越し面会などで対応し、日々の様子を電話連絡や計画書を見て頂き、コロナ禍でも家族が不安なく過ごす事ができた。

### 15. 介護

#### 2階

主任 渡辺理恵

入居者様が安全・快適な生活を送って頂ける様、ユニットリーダーがユニット会議や職員同士の話し合いの場を作る事で職員一人一人が入居者様と 真剣に向き合い、統一した対応に努めた。今後はよりご家族様とのコミュニケーションを図る事で、更なる生活の充実を図っていく。

事故防止においては、気づきメモなど活用しながらユニット会議を行い統一した対応に努めた為、大きな事故はなかった。今後はHitomeQを活用行く事で、入居者様の行動を把握し事故防止に努めて行くと共に引き続き入居者様の ADL の状況を常に把握し、未然に防げる様にユニット会議や職員同士の話し合いの場を作り未然に防げる



様に対策・対応していく。

入居者様の健康管理においては、食事・水分量が下降している入居者様への対応として、職員間で意識を持ち、医務や栄養課、ケアマネ等と連携しながら食事・水分量の確保に努めた。今後も食事・水分への意識を継続して、確保に努めていく。

感染症対策としては、疥癬の発症が2件あったが、感染対策を徹底する事で拡散する事は無かった。ゾーニングと感染対策を全職員がしっかりと対応していき、次年度も、感染対策・感染予防に努めていく。

入居者様に楽しみのある生活を送って頂ける様、新型コロナウイルスの対策をしながら毎月1回のペースで、レクリエーションを企画していたが、新型コロナウイルスの対策等により、大幅に縮小しての実施となったが、季節に合わせた企画を実施する事が出来た。

環境整備として入居者様の車椅子(空気圧の点検)と部屋の清掃(床、ポータブル清掃、洗面所、口腔コップや歯ブラシの消毒)を常勤・非常勤協力の元で計画的に実施をしてきた。

### 3階

主任 荻野大輔

#### (1) 身体ケア

一月中旬から二月中旬にかけ、ふじ・ぶこうユニット内にて新型コロナウイルスが蔓延し、入居者様、職員において多数の感染者が発生した。入居者様、職員の体調管理においては、迅速な隔離対応、防護服、フェイスシールド着用等の感染対策、担当職員の固定勤務を徹底し、また、他部署を含め施設職員全体の連携を強化する事で、あかぎ・にっこうユニット内への感染拡大を未然に防ぎ、最小限に食い止める事が出来た。今後は、この経験を十分に活かし、新型コロナウイルス対策において、職員一人一人がより一層の危機意識を持ち、3密の回避(密閉、密集、密接)、自己管理(手洗い、うがい、検温、マスク着用)等、施設内に限らず、家庭内においても最大限に万全を期し、入居者様、職員、家族の生命の安全確保に努めていく。

#### (2) 精神的ケア

新型コロナウイルスの発生に伴い、外出の自粛、ご家族様とも満足のいく面会が出来ず、不安、ストレスを抱える中、入居者様に楽しみのある日常生活を送って頂く為、食に重点を置いたレクリエーションを積極的に開催し、大変喜ばれる様子が見られた。食事レクにおいては、宅配サービスの利用、おやつレクにおいては、新たなメニューの提供、また、八瀬の里祭りの中止に伴う代替としてのお祭りバイキングの開催等、より楽しみのお機会を増やす事が出来た。今後も入居者様の意向をしっかりと汲み取り、また入居者様が出来る限り一緒に企画参加していく事で、より良い支援へと繋げていく。

#### (3) 環境整備

環境整備においては、新型コロナウイルスの発生に伴い、手すり、ドアノブ等を含め、接触頻度の高い箇所を今まで以上に重点的、且つ丁寧な消毒作業に努める事が出来た。今後も職員一人一人が危機感を持って取り組んでいく。また、汚れの目立つ箇

所としてご指摘のあった機械浴室、特に排水溝の清掃において不十分であった為、しっかりと清掃計画に組み入れ実施し、清潔保持に努めていく。

#### (4) その他

入居者様の生活支援に取り組んでいく中、接遇(言葉遣い、身体介助等も含む)においては、ご家族様、外部の方々より常に評価されていると言う認識が薄れ、雑な対応となる事が見受けられた。今一度、現状を真摯に受け止め、見つめ直し、改めて行く必要がある。その他、入居者様の身体状況の変化、職員の退職等も重なり、厳しい勤務体制が続く中、職員一人一人がお互いを思いやり、助け合いながら業務に取り組む事で身体的、精神的負担の軽減に努める事が出来た。また、新入職員も含め、新しい業務(委員会活動等)にチャレンジする職員が増え、フロア全体のレベルアップに繋げる事が出来た。今後も主任、ユニットリーダーが中心となり、職員が日々モチベーションを維持し、より高い目標を掲げ、計画的に取り組んでいく事のできる職場環境の構築に努める。

#### (5) コスト管理

コスト削減においては、日々使用する消耗品に着目し、発注する数、金額等を意識し、出来る限り在庫を抱えないように努める事が出来た。ただし、職員全体にコスト意識を十分に浸透させる事が出来なかった為、今後は、使用されている消耗品のデータを「見える化」し、職員がしっかりと理解した上で同じ目標に向けて取り組んでいく。また、その他にもオムツ、光熱費等においても日々意識をし、改善を図りながら取り組んでいく。

### 4 階

主任 発知昭仁

入居者様が安全・快適な生活を送って頂ける様、ユニットリーダーが中心となり、対応に努めた。

事故防止においては、骨折1件発生した。(入浴後の着衣介助時)次年度では、骨折事故ゼロを目標に入居者様のADLの状況を常に把握し、未然に防げる様に対策・対応をしていく。また、入浴・排泄のケアについても安心・安全なケアを常に検討し、適切なケアに努めていく。

入居者様の健康管理においては、食事・水分量が下降している入居者様への対応として、職員間で意識を持ち、医務や栄養課、ケアマネ等と連携しながら食事・水分量の確保に努めた。今後も食事・水分への意識を継続して、確保に努めていく。

感染症対策としては、疥癬が発生し、数名の入居者様へ拡散してしまった。ゾーニングと感染対策を全職員がしっかりと対応していき、次年度も、感染対策・感染予防に努めていく。

入居者様に楽しみのある生活を送って頂ける様、毎月1回のペースで、レクリエーションを企画していたが、新型コロナウイルスの対策等により、大幅に縮小しての実施となったが、春夏秋冬と季節に合わせた企画を実施する事が出来た。

離職者ゼロを目標に掲げていたが、職員2名(非常勤1名)の離職者が出てしまった。新入職員3名(非常勤1名)の指導について、ユニットリーダーが中心となり、スキル

アップに努めた。

## 〔10〕 デイサービス

生活相談員 細田恵実

### 【安心してご利用いただけるデイサービスの運営】

感染予防対策がしっかりでき、ご利用者様、ご家族様に信頼されるデイサービス作りを目標とした。

### 【利用受け入れ態勢の強化】

ご家族様のご希望に合ったご利用曜日を相談にて設定、入浴形態もご本人様の意思に沿って実行受け入れ行った。

### 【個別援助の充実】

ご利用者様の多彩なニーズに応え、アクティビティ及び各種体操に加え積極的な声掛けを実施し、機能訓練士の指導の下、個別機能訓練を行った。

### 【感染予防対策】

施設送迎時は乗車前の体温測定・手指消毒行い感染拡大防止に努めた。

ご利用者様来所時に「うがい」・「手洗い」をして頂き、昼食前、間食前にはテーブルの消毒及び手指消毒を一人一人行い、利用中10時・14時・16時の体温測定等を行った。利用者様帰宅後のサニタリー空間及びデイルーム、テーブル、椅子、手摺等アルコール消毒及び床面は次亜塩素消毒を毎日実践今後も引き続き感染予防対策に取り組む。

### 【登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年度	55	53	53	54	55	53	52	50	50	49	51	51
3年度	52	51	52	52	52	54	51	52	52	53	52	54

### 【一日平均利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	17.1	18.5	21.5	22.9	21.9	21.5	22.3	22.4	20.5	20.4	20.9	21.5	20.9
3年度	20.1	20.7	20.4	22.5	23.3	22.5	23.3	21.6	21.7	21.2	20	19.7	21.5

### 【延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	383	389	473	527	461	473	492	472	431	266	418	495	5280
3年度	464	453	449	496	514	496	490	476	456	425	400	454	5573

## 【欠席内容】

	欠席者数	SS 利用	都合	入院	他 SS 利用	体調不良
2 年度	1243	136	407	334	27	339
3 年度	1024	190	198	166	11	459

※当施設にて感染者が出たことや1階交流スペースに簡易隔離ルームを作ったことにより、デイ利用を控える傾向が強くなった。

※ ワクチン接種による受診欠席と副反応による体調不良者も多かった。

※ 感染の恐怖から外出を控える利用者様も多く長期お休みされる方もいた。

### 〔11〕 ショートステイ

生活相談員 大澤 紫苑

#### 【事業報告】

- 利用延べ日数：7,946 日  
→内訳：\*空床利用延べ日数：1,532 日（全体：19.3%）
- 1日あたりの利用者数：21.7 人/日
- 1月30日に新型コロナウイルス感染者1名発生。それに伴い新規及び定期利用者の受け入れを2月20日まで中止。その間総利用者数15人/日（利用率：88.3%）まで低下した。

### 〔12〕 居宅介護支援事業所

管理者 佐藤 聖子

#### 【1】 事業稼働の年間目標について

令和3年度を振り返り、職員の退職が11月に1名有りましたが、3ヶ月前からの計画的な引継ぎにより滞り無く安定した稼働実績となっております。依って十分に目標を達成できております。

又、介護予防支援においては、他法人居宅介護支援事業所では介護支援専門員1人当たり1～2件の委託状況である中、当事業所においては年間平均2名以上の目標に対し、年度末においては常勤介護支援専門員1人で8件の委託を受け入れており、実績の安定他、地域包括支援センターとの信頼関係の構築へ繋げる事が出来ました。

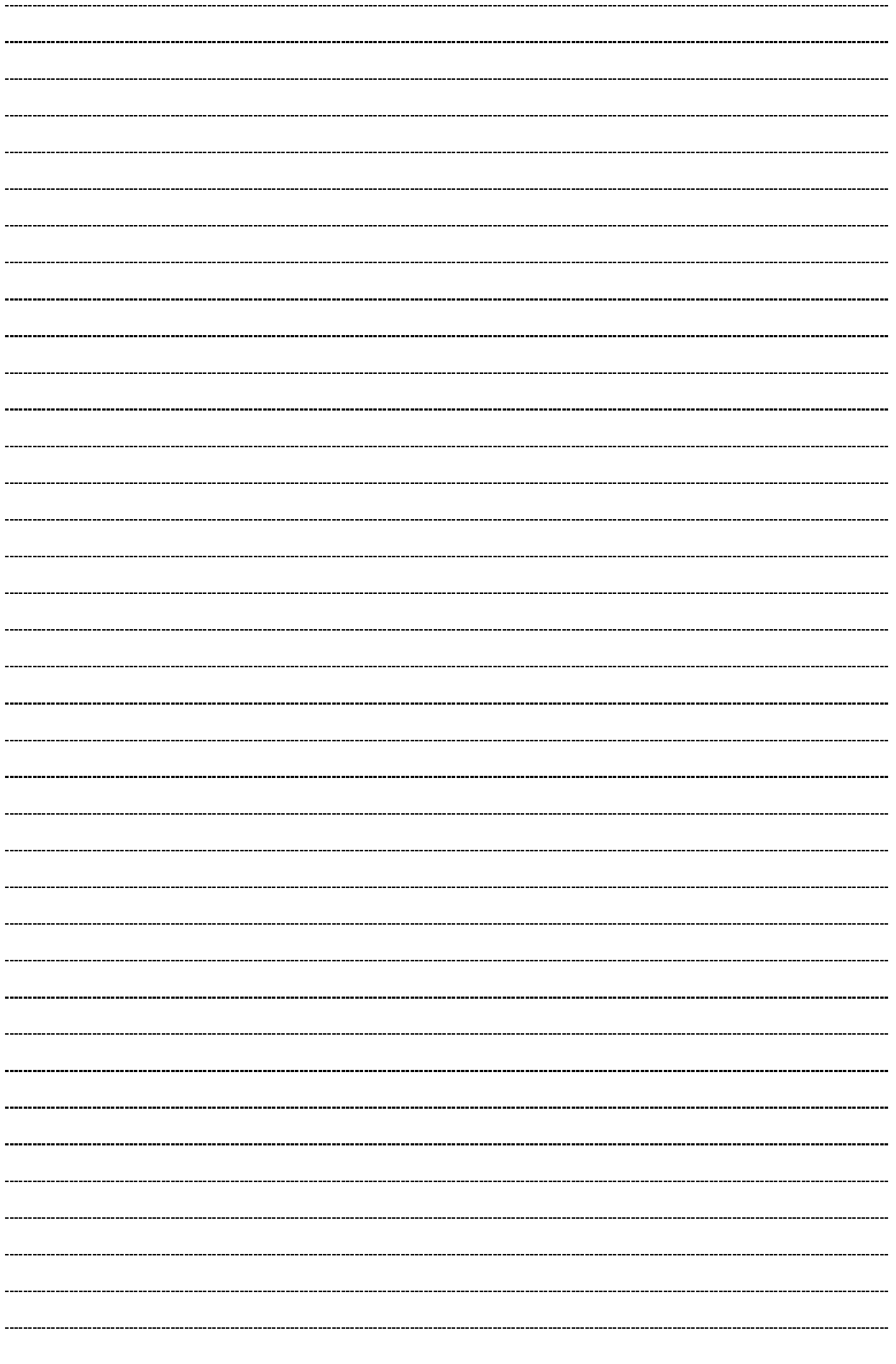
#### 【2】 認定調査委託業務について

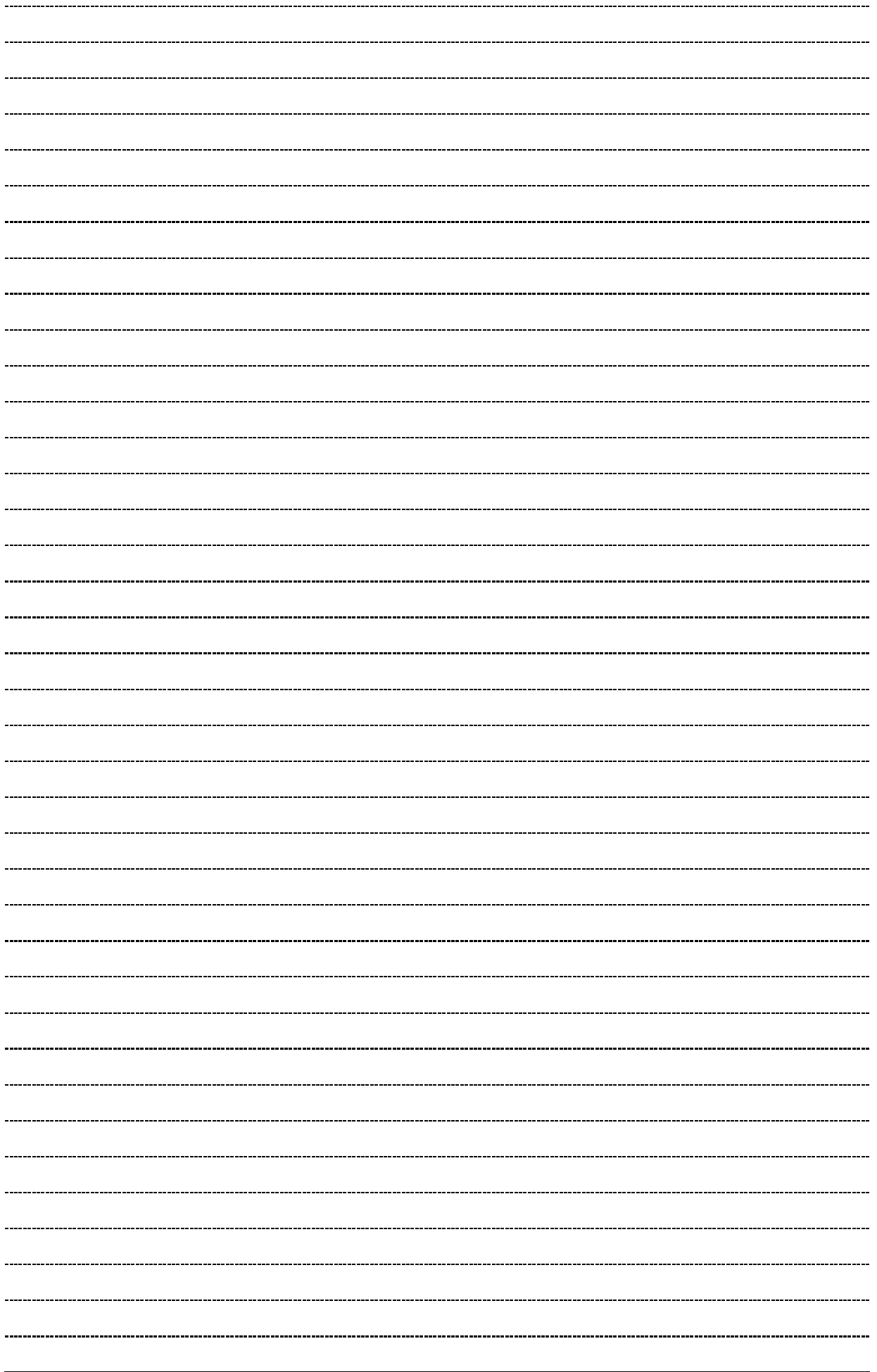
昨年度においては、新型コロナウイルス感染症予防により法人内の感染予防を優先し、調査依頼の見送りをさせて頂きました。

#### 【3】 その他事業指針について

上記同様、新型コロナウイルス感染症予防を踏まえ、日常的なケアマネジメント業務における訪問、担当者会議等が従来通りの実施が困難な状況となり、昨年度は介護

支援専門員の応用力と技量が問われる一年となりました。厚生労働省や保険者からの通知や、地域包括支援センターへの相談を踏まえた上で、対面による集団会議への参加は欠席又はオンラインによる出席の徹底、ケアマネジメント業務においても、状況に応じてオンラインの活用等を実施しました。又、法人内の会議や研修においても、原則オンラインによる出席とし、可能な限りの対応となりました。





**令和2年度 事業報告書**

2022年（令和4年）6月1日 発行・印刷

監修・編集 社会福祉法人 芳清会

印刷・製本 社会福祉法人 芳清会

TEL 049-247-7311

FAX 049-247-7312

URL <http://www.houseikai-y.jp/>

E-mail [yasenosato@houseikai-y.jp](mailto:yasenosato@houseikai-y.jp)